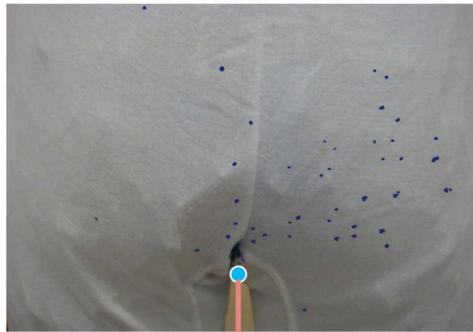
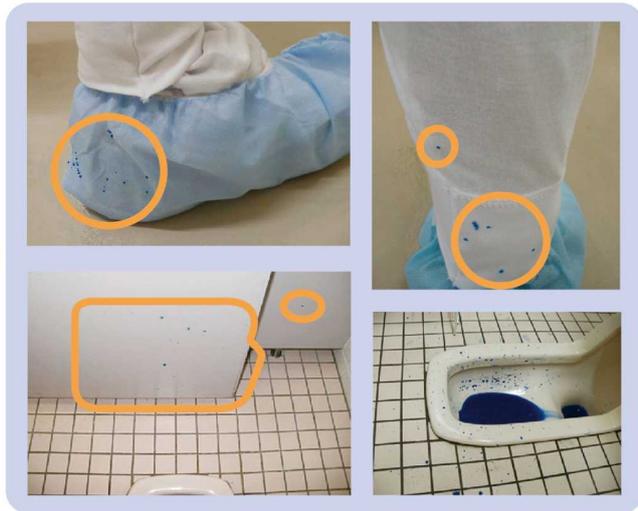


トイレを起点とするノロウイルス汚染拡大の検証実験

和式トイレでの水様下痢便を想定した汚染実験による、身体、環境等の汚染状況



● 擬似便装置取り付け位置



排便後肛門拭き取り時の手の汚染

資料提供：長野県北信保健福祉事務所提供

嘔吐物の拡散検証実験

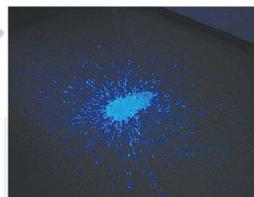
フラウライトを当てた場合



蛍光塗料を入れた擬似嘔吐物



車椅子を想定して約1メートルの高さから落下(約100ml) 半径約1.7mは飛散



めぐり取る



見た目はきれいになるけど… 実際は残っている



紙でふき取った後にモップがけをすると、モップに付着(使うと汚染拡大)



台車が通ると、コロを介して汚染拡大



歩くと、靴の裏に付着して、汚染拡大



資料提供：東京都多摩府中保健所提供

加熱は、不活化に最も有効

中心温度85～90℃で
90秒以上加熱!



27

ノロウイルスをつけない

ノロウイルスを保有していることを前提にした取扱い
(不顕性感染・回復後もウイルス排出)

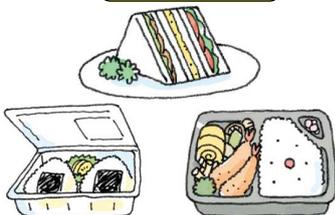
- 手洗いの徹底
- 素手で食品に触れない
- 使い捨て手袋やマスクの正しい着用
- 衛生的な作業着の着用



- 非加熱食品、加熱後の食品の取扱いに注意



食品



食器



調理器具・調理環境



28